



■ 教 育 目 標 ■

- ・よく学び、よく考える自主性のある中学生
- ・心身ともに健康で礼儀正しい中学生
- ・規律と責任を重んじ、よく働く中学生

発行 令和8年2月4日(水)

令和7年度 第10号 江戸川区立葛西第三中学校

さらなる前進・さらなる挑戦 ～「どうせ無理」から夢の実現へ～

校長 金 澤 栄 治

寒さの厳しい日が続いていますが、暦の上では「立春」を迎え、春が始まる時期となりました。皆さんには、健康に留意しながら学校生活を送り、日々の学習や部活動等に取り組む中で、一步一步確かな成長がみられているところです。しかし、一方で年末年始に青森県や鳥取県で大きな地震が発生しています。ニュースでの映像などで改めて地震の怖さを実感し、不安をもった人もいると思います。ご家庭においても非常時の備え(食料・飲料水など)や避難方法など話し合う機会をぜひ設けてください。もちろん、自分の命を守る行動を日頃から意識して生活するよう心がけましょう。

さて、2026 冬季オリンピックが始まります。イタリアのミラノとコルティナにて、8 競技 116 種目が2月4日から競技がスタートし、2月22日までの19日間、熱戦が繰り広げられます。アスリートの方々は、この日のために目標をもって日々、努力を積み重ね、いくつもの大会で結果を残して晴れの舞台に参加します。きっと困難を乗り越えて、最後まであきらめずに挑戦する姿に、私たちはたくさんの希望や勇気をもらうことでしょう。ぜひ、昨年行われたデフリンピック同様、声援を送ってほしいと思いますし、皆さんも、自分の夢、希望、そして目標の達成に向けて、自分自身に負けることなく、頑張り続けてほしいです。

話しは変わりますが、以前あるテレビ番組で、町工場を切り盛りしながら宇宙開発をめざす、「植松 努」さんが紹介されていました。植松さんは、小さな町工場の経営者でありながらロケット事業に取り組んでいる方です。北海道内の大学や民間企業と協力して、今までのロケットに比べ、1/10 の費用で打ち上げられるハイブリッドロケットCAMU Iを開発しました。ロケットエンジンの開発は危険が伴うので簡単には取り組みません。もし、ロケットが爆発して中の燃料が外に出してしまうと、それが周りの空気につれて引火して一面が火の海になるのですが、このCAMU I ロケットの燃料はポリエチレンからできているので、機体が壊れても二次燃焼が起きない、技術面としては画期的なことなのだそうです。

植松さんは、小さい頃から本を読むことが大好き、そして飛行機やロケットが好きすぎて、紙飛行機を作ることにのめり込み、自分で設計して作ることに夢中になり、学校の勉強がおろそかになってしまいました。中学校の進路相談で「飛行機やロケットの仕事がしたい」と言ったところ、「そもそも宇宙なんかよほど頭が良くなければ無理だ。すぐにお金がかかるし、別世界の話だ。飛行機やロケットの設計は、東大出じゃないとできないぞ!」と担当の先生から言われました。

「夢って何だろう。できそうな夢しか見てはいけないのか。」「できるか、できないか、誰が決めるのか。やったことない人が決めるのはおかしい。」「今、できないことを追いかけることが、夢ではないのか。」と植松さんは思ったそうです。

そして、植松さんの心の中にいた、ライト兄弟やエジソンに「僕たちは東大に行っていないよ。」とささやかれ、植松さんは飛行機やロケットの勉強を独学で続けました。でも、周りからは「そんな趣味は無駄だ! 受験に関係のないことをするな!」と言われ続けました。その後、希望の大学に進学し、流体力学を専攻され、小さい頃から憧れ続けてき

た航空機設計会社で働くことができました。ここで、「15年先をみた設計をせよ。相手と同じ土俵に乗るな。武人の蛮用に耐えよ（手荒く扱っても壊れない耐久性）」という設計思想をたたき込まれ、これが今のビジネスを支える重要な柱になっているそうです。

北海道大学で、爆発しないロケットエンジンを開発していた先生と出会い、自分達で開発できるロケットエンジンの開発を一緒にやらせてもらえるようお願いし、民間宇宙開発企業「カムイスペースワークス」が設立されました。植松さんはカムイスペースワークスで宇宙開発という夢をとおして人材を育て、お金という価値だけに支配されない、人間の価値を大切に社会の構築を目指しています。

植松さんは国際的な講演をオンラインで配信するTED(テクノロジー・エンターテイメント・デザイン)のなかで、次のように話をしています。

「人間が生きていく上で大切なことは、できなかったことをできるようにする。今、できないことを追いかけることが夢なのです。『どうせ無理』は人の自信と可能性を奪う言葉です。唱えるだけで何もしなくてすむ、楽ちんな言葉です。やったことがないことをやりたがる人、あきらめない人、工夫する人が増えれば、より良い世の中ができます。できない理由を探すのではなく、できる理由を考えることが大切です。小さいころから母親に『思うは招く』という言葉言われてきました。『どうせ無理』と思ったら、『だったらこうしてみたら？』で夢はかなうのです。」

最後になりますが、2026年もすでに一ヶ月が過ぎました。「一年の計は元旦にあり」といいますが、皆さん一人一人が立てた、新年の目標や抱負に向けて良いスタートができていますか。ぜひ、今年一年をどんな年にしたいか、その決意を一年間大切にし、確実に実行してください。植松さんのように、夢を実現させるために！

☆☆☆文部科学省「全国いじめ問題子供サミット」参加☆☆☆

1月24日(土)、文部科学省にて「全国いじめ問題子供サミット」が開催されました。各都道府県から選ばれた代表者が参加する中で、本校生徒会長が、東京都中学校609校の代表として、全国の小中学生に向けてポスターセッションをしました。葛西三中の「いじめ撲滅宣言」と三中生の取り組みを全国に向けて発信し、大きな関心を集めました。ポスターは現在本校正面玄関に掲示していますので、ぜひご覧ください。

☆☆☆ 部活動大会・その他の活動等について ☆☆☆

- 吹奏楽…東京都中学生アンサンブルコンテスト 金管六重奏 銀賞
- 江戸川区立中学校生徒会交流会参加
- 江戸川区立中学校書き初め展…推薦
- 東京都公立学校美術展覧会…書き初め出品
- ふれあいニューイヤーマラソン大会 運営協力ボランティア参加

生徒の個人名は紙配布のものでご確認ください。

* 2月の主な行事予定

3日(火)	専門・中央委員会	14日(土)	学校公開 新入生保護者説明会
5日(木)	3年都立高校一般入試出願終	17日(火)	避難訓練
6日(金)	2年校外学習 家庭学習週間終	21日(土)	3年都立高校一般入試
9日(月)	生徒会朝礼	23日(月)	天皇誕生日
11日(水)	建国記念の日	24日(火)	学年末考査始(26日(木)まで)
12日(木)	区教員研修会(給食後下校)	27日(金)	学校保健給食運営委員会